

平成22年度e・アンケートモニター 第2回アンケート調査結果

テーマ「食料自給率の向上に向けた取組について」

I 調査の概要

1 調査のテーマ及び目的

テーマ:「食料自給率の向上に向けた取組について」(農林水産政策課)

山口県では、平成21年7月に「やまぐち食料自給率向上行動計画」を策定し、山口県の食料自給率(生産額ベース)を70%以上とすることを目指して、食の生産・流通・消費に携わる方々がスクラムを組んで、お互いの立場を理解・尊重し、連携しながら、それぞれの役割を果たし、考え、行動していく県民運動の取組を進めています。

このアンケートは、食料自給率に関する皆さんの意識や意向を把握するもので、今後、山口県の食料自給率向上に向けた取組を進めていく上での参考にします。

2 調査実施期間

平成22年10月8日～10月21日

3 調査対象

平成22年度e・アンケートモニター:166人

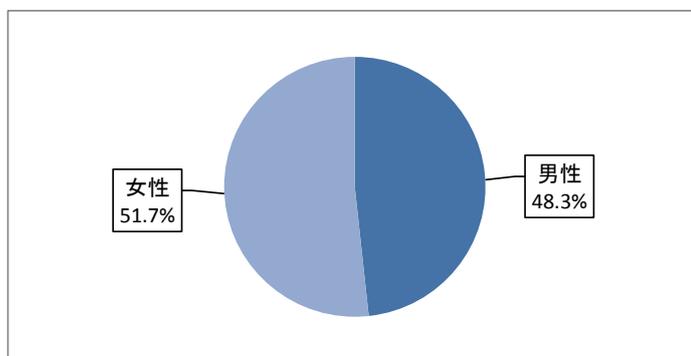
4 回答状況

回答者:118人(71.1%)

II 回答者の属性

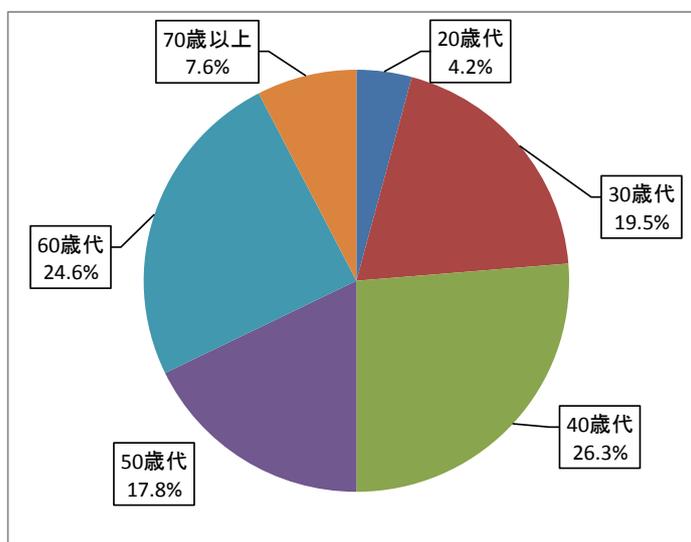
■性別

区分	人数	%
男性	57	48.3%
女性	61	51.7%
計	118	100.0%



■年代別

区分	人数	%
20歳代	5	4.2%
30歳代	23	19.5%
40歳代	31	26.3%
50歳代	21	17.8%
60歳代	29	24.6%
70歳以上	9	7.6%
計	118	100.0%

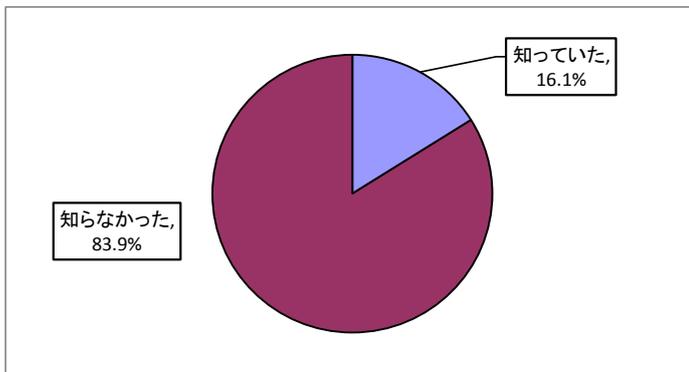


「回答者の属性」、「調査結果」の各表及び各グラフ中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合がある。

Ⅲ 調査結果

Q1 山口県の食料は、海外や県外から入ってくる農水産物が多く、「山口県の食料自給率」は、生産額 ベース (50%)、カロリーベース(33%)ともに全国平均(生産額ベース66%、カロリーベース40%)を下回っています。こうした山口県の食料自給率の状況をご存じでしたか。(1つのみ)

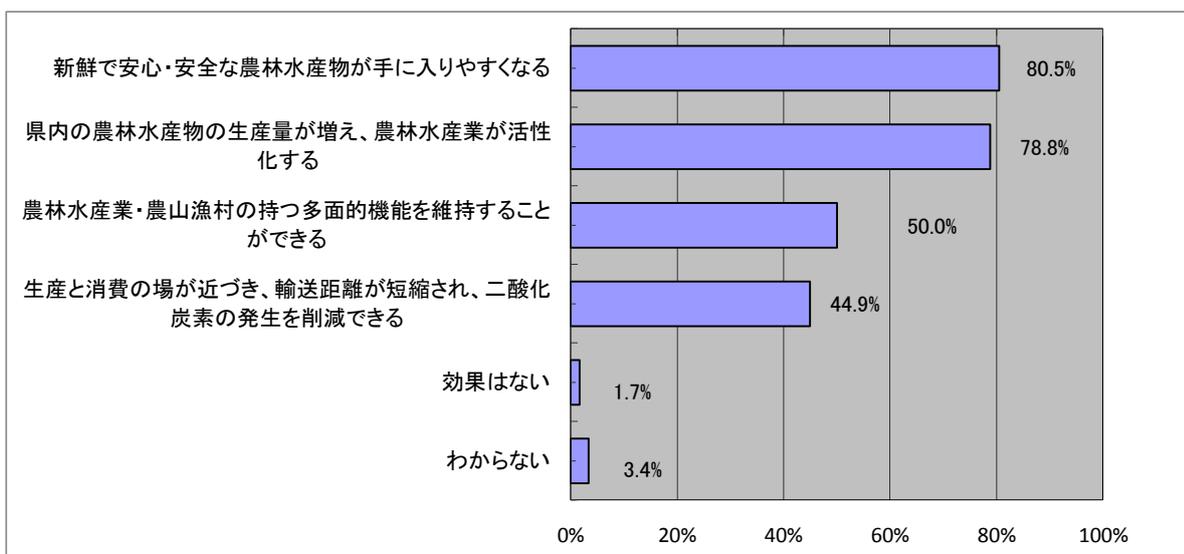
選択肢	人数	%
知っていた	19	16.1%
知らなかった	99	83.9%



Q2 山口県の食料自給率が向上することで、どのような効果があると思いますか。(いくつでも)

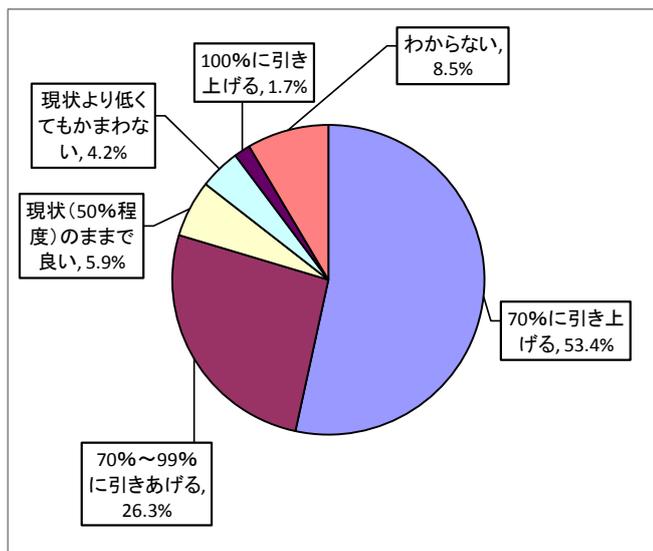
選 択 肢	人数	%
新鮮で安心・安全な農林水産物が手に入りやすくなる	95	80.5%
県内の農林水産物の生産量が増え、農林水産業が活性化する	93	78.8%
農林水産業・農山漁村の持つ多面的機能を維持することができる	59	50.0%
生産と消費の場が近づき、輸送距離が短縮され、二酸化炭素の発生を削減できる	53	44.9%
効果はない	2	1.7%
わからない	4	3.4%

(複数回答)



Q3 山口県では、山口県の食料自給率(生産額ベース)を70%以上に引き上げることを目標に取り組んでいますが、あなたは、今後、目標とすべき山口県の食料自給率(生産額ベース)は、どのくらいとお考えですか。(1つのみ)

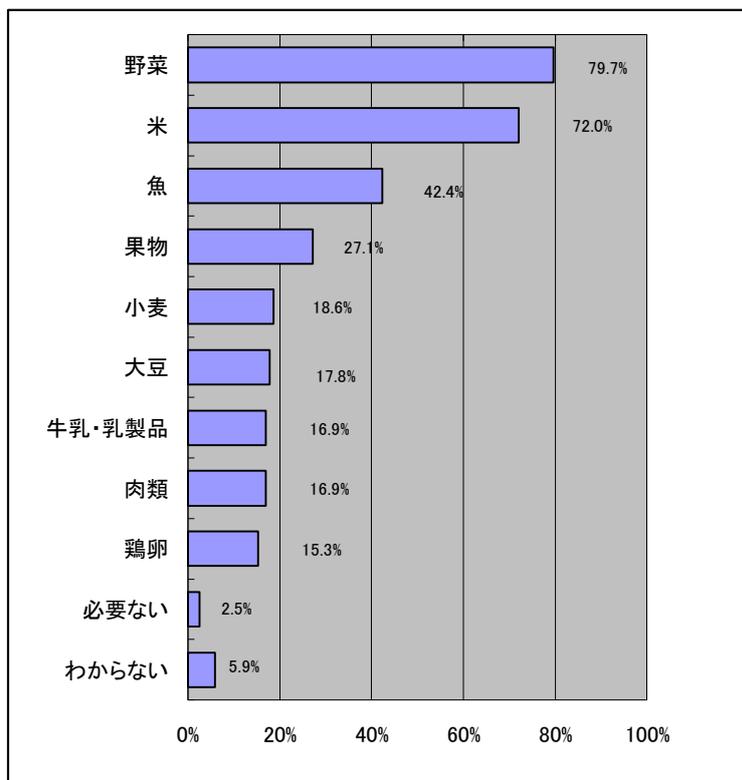
選択肢	人数	%
70%に引き上げる	63	53.4%
70%~99%に引きあげる	31	26.3%
現状(50%程度)のままで良い	7	5.9%
現状より低くてもかまわない	5	4.2%
100%に引き上げる	2	1.7%
わからない	10	8.5%



Q4 山口県で食料自給率を引き上げることが必要と思われる品目を回答してください。(3つまで)

選択肢	人数	%
野菜	94	79.7%
米	85	72.0%
魚	50	42.4%
果物	32	27.1%
小麦	22	18.6%
大豆	21	17.8%
牛乳・乳製品	20	16.9%
肉類	20	16.9%
鶏卵	18	15.3%
必要ない	3	2.5%
わからない	7	5.9%

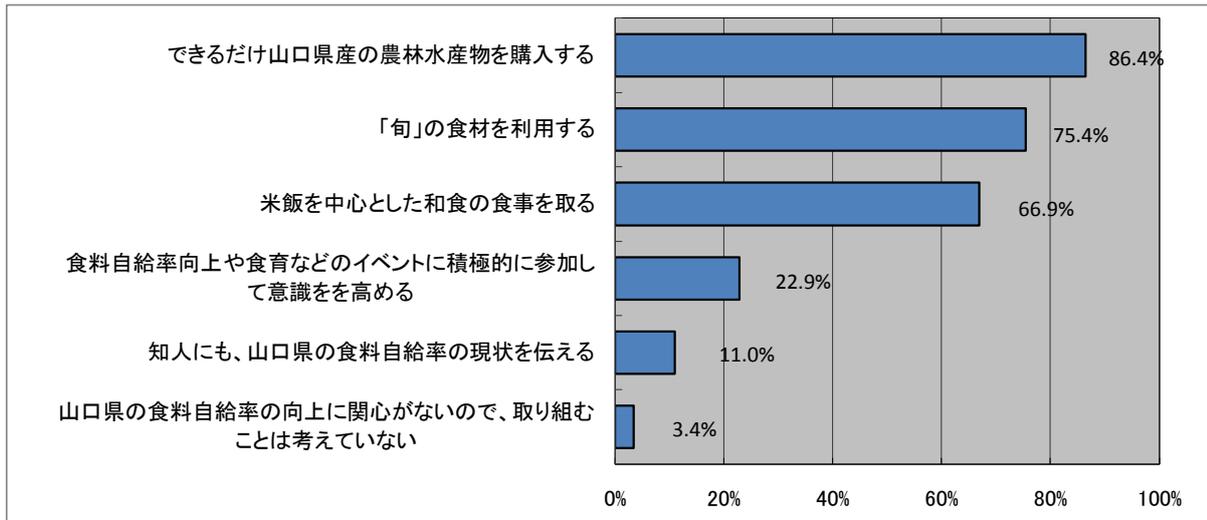
(複数回答)



Q5 山口県の「食料自給率」の向上を図るために、ご自身やご家族で取り組むことができることは何ですか。（いくつでも）

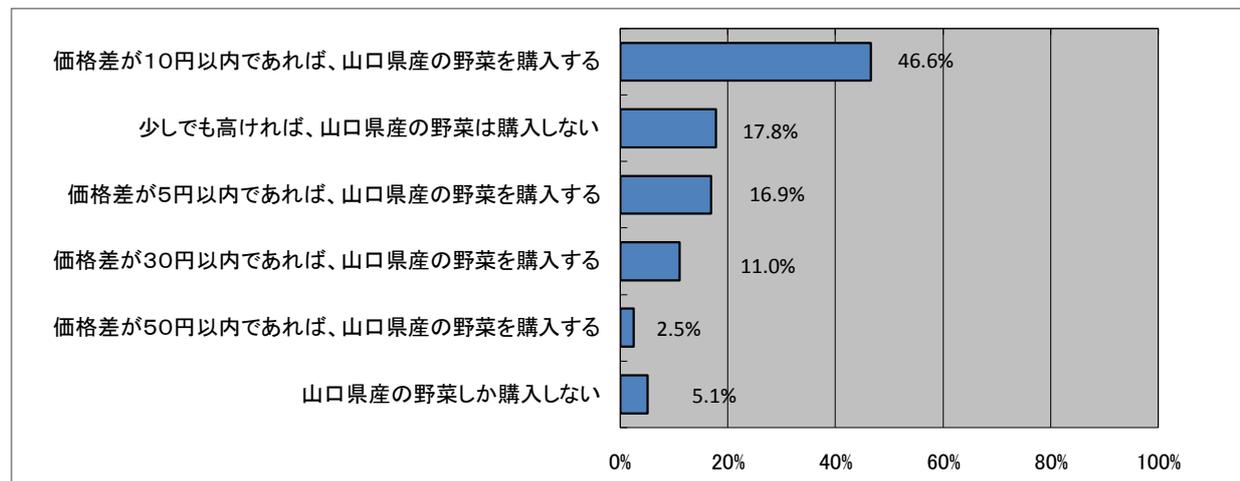
選 択 肢	人数	%
できるだけ山口県産の農林水産物を購入する	102	86.4%
「旬」の食材を利用する	89	75.4%
米飯を中心とした和食の食事を取る	79	66.9%
食料自給率向上や食育などのイベントに積極的に参加して意識を高める	27	22.9%
知人にも、山口県の食料自給率の現状を伝える	13	11.0%
山口県の食料自給率の向上に関心がないので、取り組むことは考えていない	4	3.4%

(複数回答)



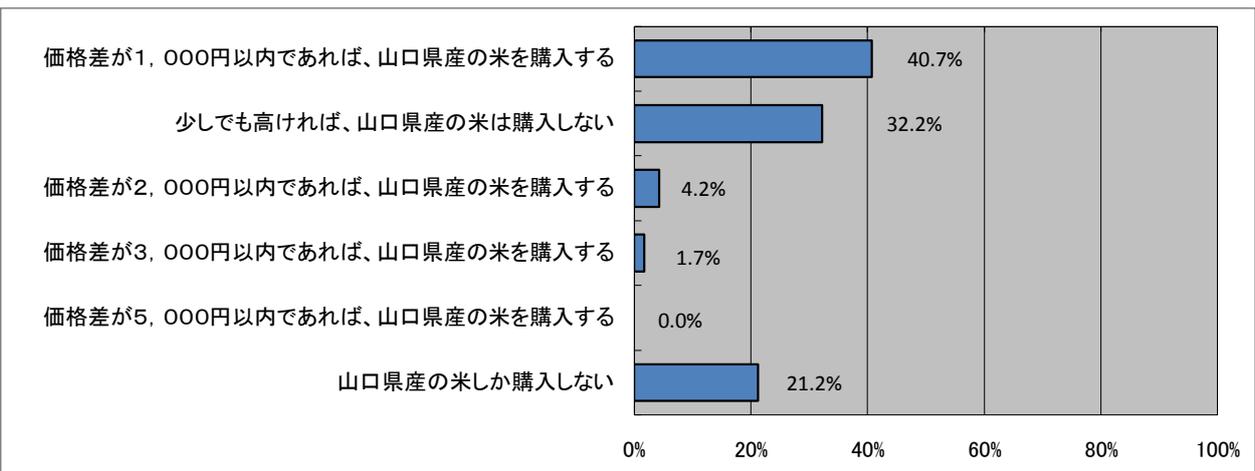
Q6 山口県産と他県産(いずれも国内産)の野菜の購入価格を比較して、どの程度の価格差であれば、山口県産の野菜を購入しますか。他県産の野菜を100円としてお考えください。(1つのみ)

選 択 肢	人数	%
価格差が10円以内であれば、山口県産の野菜を購入する	55	46.6%
少しでも高ければ、山口県産の野菜は購入しない	21	17.8%
価格差が5円以内であれば、山口県産の野菜を購入する	20	16.9%
価格差が30円以内であれば、山口県産の野菜を購入する	13	11.0%
価格差が50円以内であれば、山口県産の野菜を購入する	3	2.5%
山口県産の野菜しか購入しない	6	5.1%



Q7 山口県産と他県産(いずれも国内産)の米の購入価格を比較して、どの程度の価格差であれば、山口県産の米を購入しますか。他県産の米を10,000円としてお考えください。(1つのみ)

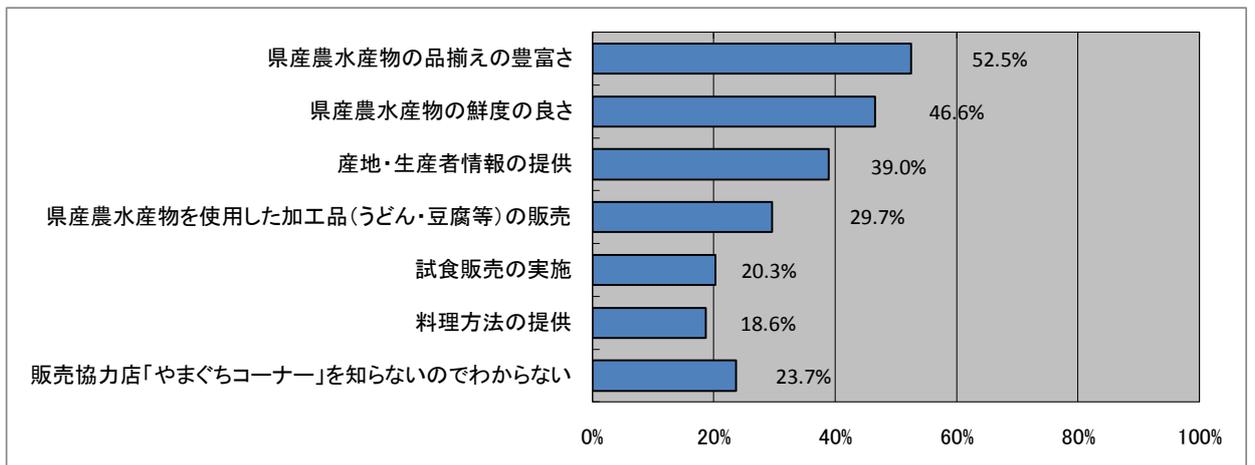
選 択 肢	人数	%
価格差が1,000円以内であれば、山口県産の米を購入する	48	40.7%
少しでも高ければ、山口県産の米は購入しない	38	32.2%
価格差が2,000円以内であれば、山口県産の米を購入する	5	4.2%
価格差が3,000円以内であれば、山口県産の米を購入する	2	1.7%
価格差が5,000円以内であれば、山口県産の米を購入する	0	0.0%
山口県産の米しか購入しない	25	21.2%



Q8 山口県産の農水産物を年間を通して販売する「やまぐちコーナー」を設けた「販売協力店」を、県下に設置していますが、この「やまぐちコーナー」に何を望まれますか。(3つまで)

選 択 肢	人数	%
県産農水産物の品揃えの豊富さ	62	52.5%
県産農水産物の鮮度の良さ	55	46.6%
産地・生産者情報の提供	46	39.0%
県産農水産物を使用した加工品(うどん・豆腐等)の販売	35	29.7%
試食販売の実施	24	20.3%
料理方法の提供	22	18.6%
販売協力店「やまぐちコーナー」を知らないのわからない	28	23.7%

(複数回答)



Q9 山口県の食料自給率の向上を図るため、県が行ったら良いと思う取組をお答えください。(いくつでも)

選 択 肢	人数	%
県内の農林漁業や農家、漁家への支援	68	57.6%
県産の農林水産物を学校給食へ使用する取組	61	51.7%
小・中学校への食育活動の実施	59	50.0%
広報活動の積極的な実施	45	38.1%
生産者と消費者の交流の場を提供	44	37.3%
農林漁業を体験する活動の実施	24	20.3%
食料自給率に関する研修会の開催	17	14.4%
現状の取組で十分	4	3.4%

(複数回答)

